

ゴルフ市場活性化委員会主催

「2011ゴルフ市場活性化セミナー」
2015年問題を乗り越えよう
～フォローの風をみのがすな～
ニューカマーがゴルフ市場に着目した理由(ワケ)

～始めよう、続けよう、もっとゴルフを～



基 調 講 演

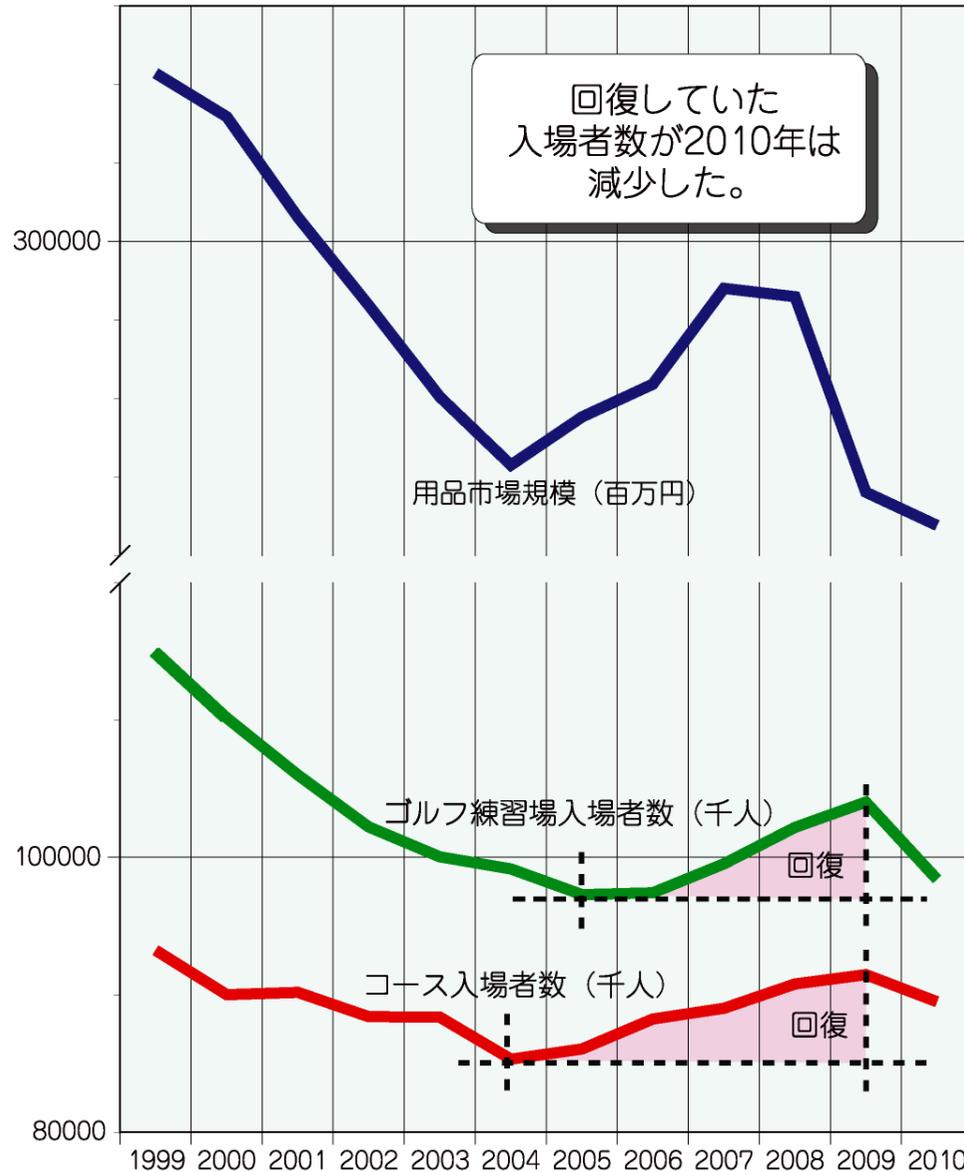
「マクロデータから見るゴルフ需要の現状」

ゴルフ市場活性化委員会 マーケティング広報委員
山岸勝信



●最近10年間のゴルフ最終需要マクロデータ推移

●ゴルフ最終需要推移

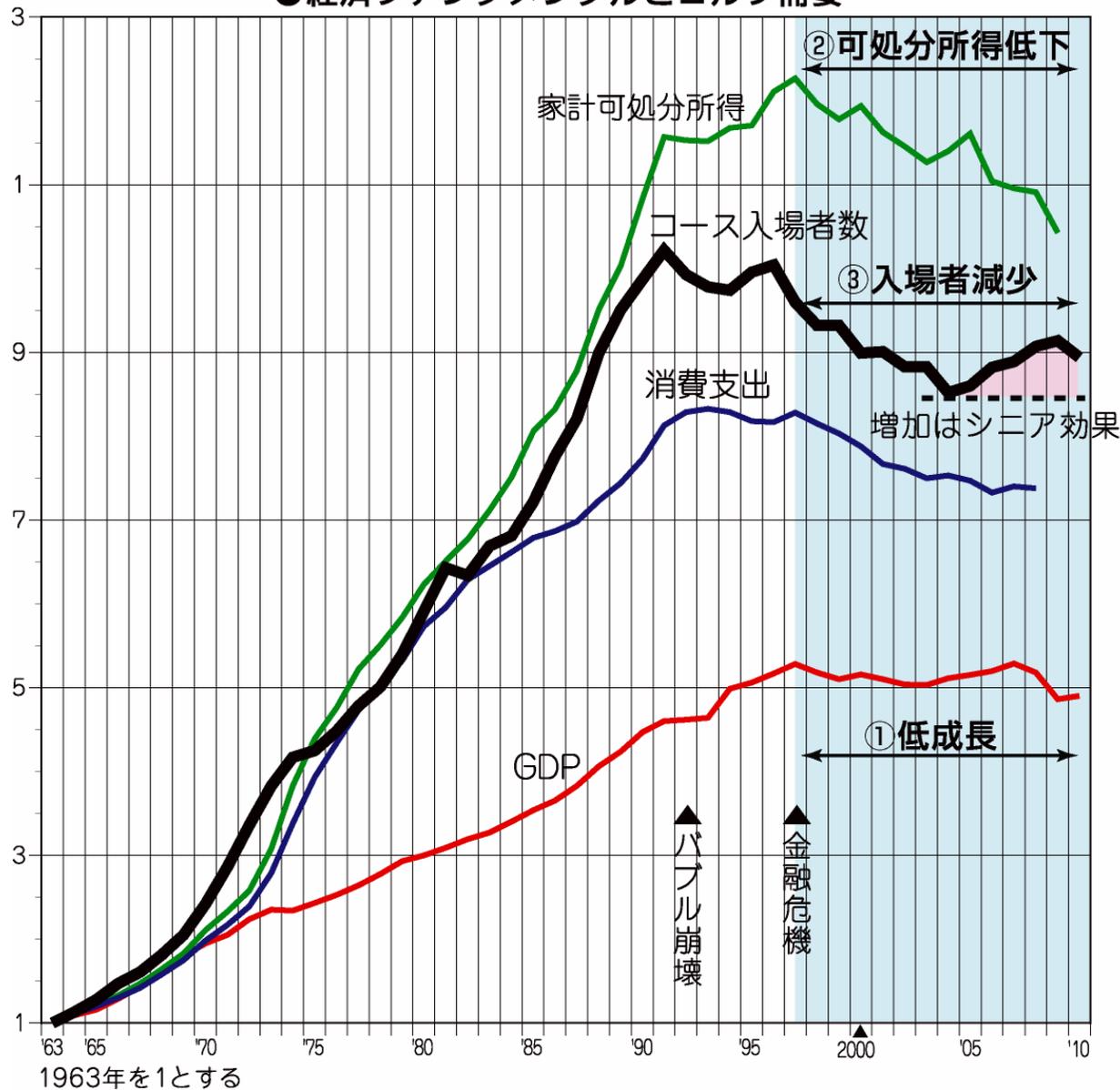


	コース 入場者数	ゴルフ 練習場 入場者数	用品市場 規模
	NGK	ゴルフ経営 研究所	矢野経済 研究所
年	千人	千人	百万円
1999	93,228	114,948	321,430
2000	90,000	110,152	315,910
2001	90,175	106,010	303,080
2002	88,409	102,214	291,910
2003	88,376	100,064	280,190
2004	85,307	99,161	271,490
2005	86,046	97,281	277,670
2006	88,235	97,422	281,820
2007	89,020	99,550	294,030
2008	90,786	102,204	292,960
2009	91,481	104,036	268,050
2010	89,509	98,403	263,840

※2010年は速報値or推計値

●日本経済の動向とゴルフ最終需要

●経済ファンダメンタルとゴルフ需要



ゴルフ需要は可処分所得に比例する

① 低成長

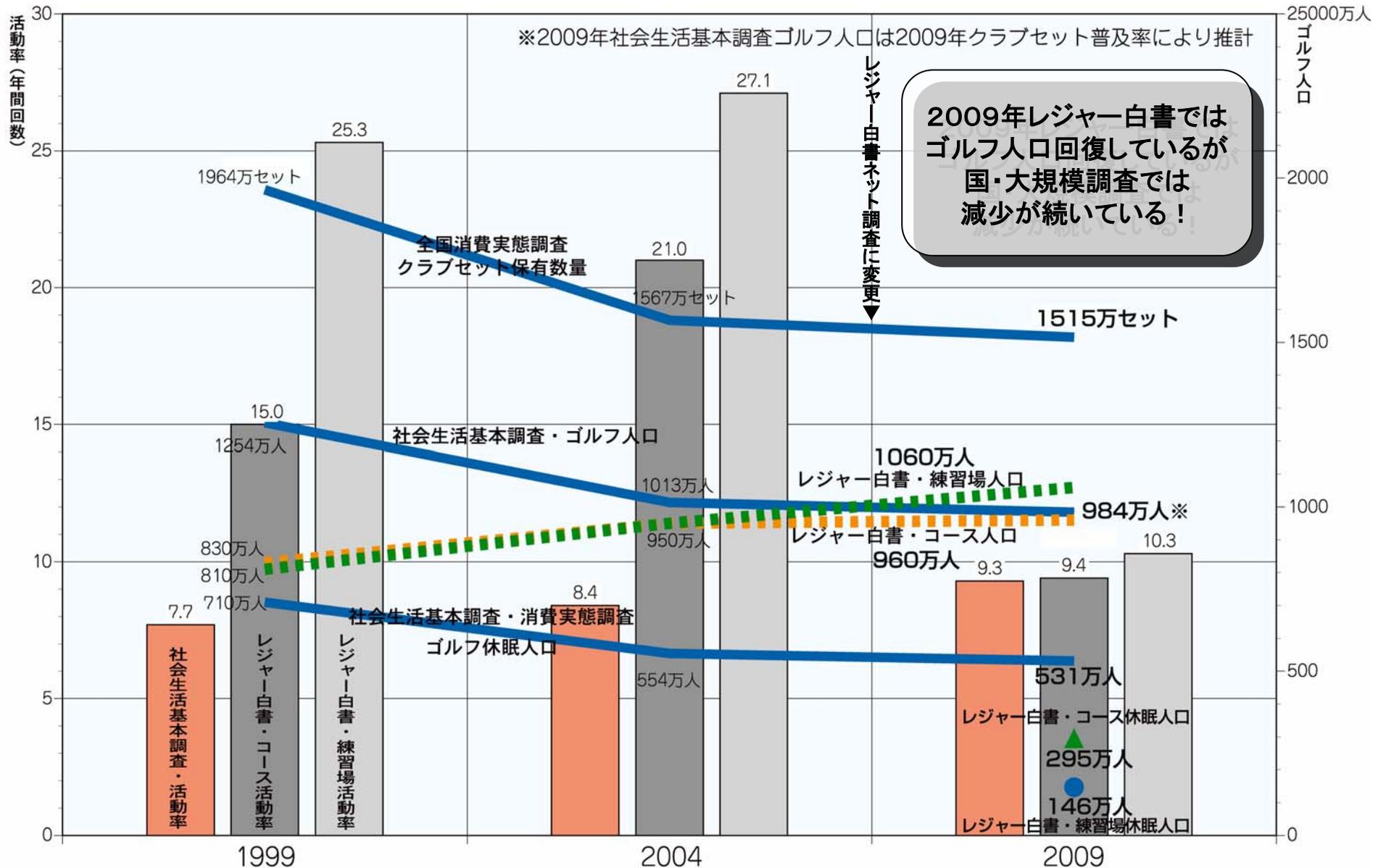
② 可処分所得低下

③ コース入場者減少

この連鎖から脱出するには？

2004年以降の入場者数増加はシニア効果によるもの

●国・大規模調査データと速報・レジャー白書データの対比



●ゴルフ需要基本公理と各項の推移

最終ゴルフ需要実績データは重要だが、その傾向からは構造変化や将来予測は不可能である。
最終需要を「ゴルフ需要基本公理」に因数分解し、各項の動向を分析する必要がある。



				h11	h12	h13	h14	h15	h16	h17	h18	h19	h20	h21	h22
				1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
参加率	社会生活基本調査	ゴルフ行動者率	%	11.5	8.9
	全国消費実態調査	クラブセット 普及率	%	41.9	31.9	28.6
	レジャー白書	ゴルフコース	%	10.7	11.9	12.3	9.5	9.8	9.4	9.8	8.1	7.5	8.6	9.3	
		ゴルフ練習場	%	11.8	12.8	12.3	10.6	9.8	10.5	9.4	8.0	7.3	8.6	9.4	
				1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
ゴルフ人口	社会生活基本調査	ゴルフ行動人口	千人	12,252	10,139
	全国消費実態調査	クラブセット 保有数量	千セット	19,647	15,676	15,152
	レジャー白書	ゴルフコース	千人	11,600	12,900	13,400	10,400	10,800	10,300	10,800	8,900	8,300	9,500	9,600	
		ゴルフ練習場	千人	12,800	13,900	13,400	11,600	10,800	11,600	10,400	8,800	8,100	9,500	10,600	
				1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
活動率	社会生活基本調査	行動回数	回	23.9	25.1
	全国消費実態調査・NGK	ゴルフコース	回	7.7	8.4	9.3
	レジャー白書	ゴルフコース	回	12.3	11.7	12.1	11.9	13.5	13.3	11.6	10.8	15.0	14.3	12.8	
		ゴルフ練習場	回	17.0	20.4	19.6	18.8	21.0	19.0	17.6	19.0	25.3	21.0	18.3	

●2005年を基準とする2010年ゴルフ需要理論予測値と実績

●理論計算式

2005～2025年
社会保障・人口問題研究所
県別・年齢別
将来人口予測

×

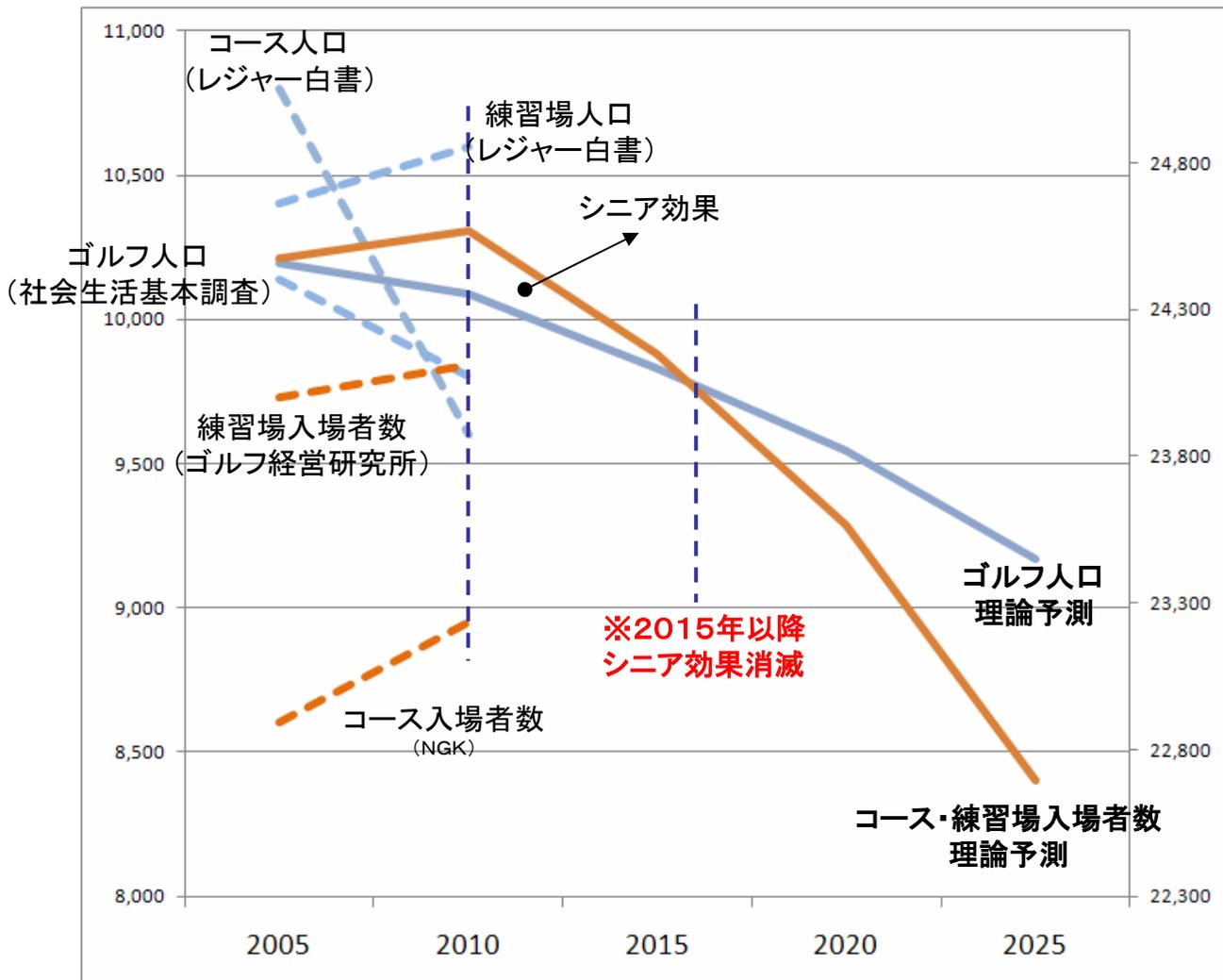
2005年
社会生活基本調査
県別・年齢別
参加率

×

2005年
社会生活基本調査
県別・年齢別
活動率

将来ゴルフ人口

将来施設入場者

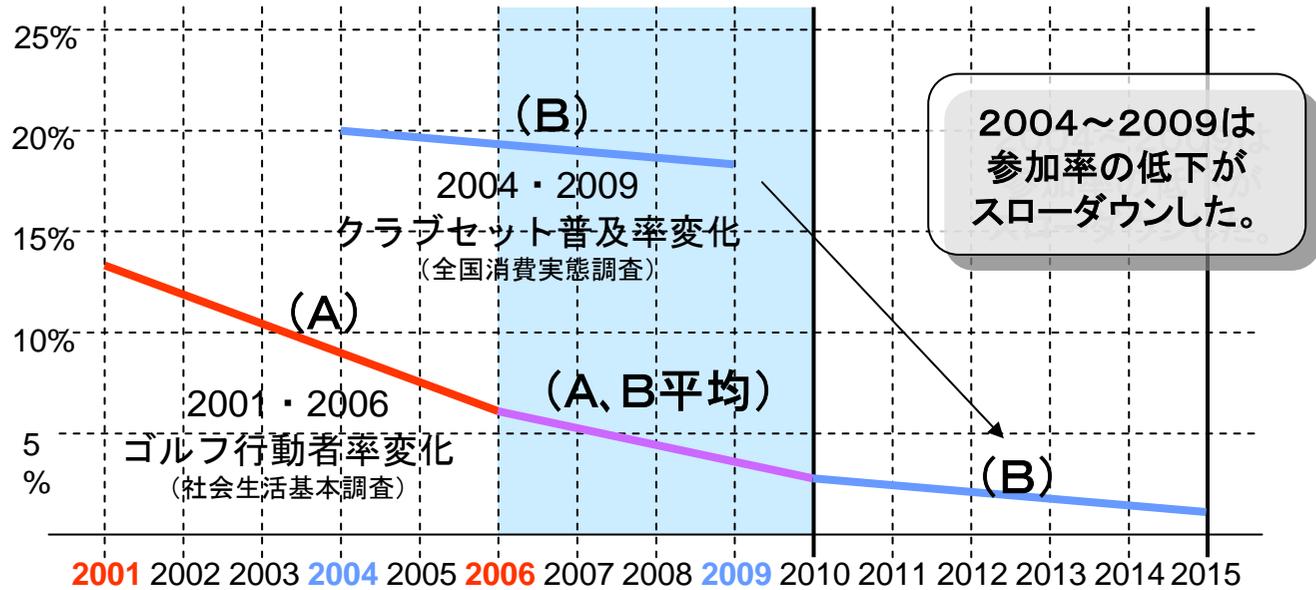


2005年→2010年のゴルフ需要実績値変化は
理論予測値の傾向(ゴルフ人口減少・入場者数増加)と合致する。
2011年以降はゴルフ人口、入場者数ともに減少する可能性が高い。



●2015年ゴルフ需要減少量予測

・ゴルフ参加率将来低下量の設定（ケースB）



・2015年ゴルフ需要減少量予測

	与件				2010	2010を 100%と する	2015 推計	増減量
ケースA	2010参加 率・活動率維 持される	ゴルフ人口	万人		1,008	97.5%	982.8	▲ 25.2
		最終需要	コース	万人	8,950	98.3%	8,797.9	▲ 152.2
			練習場	万人	9,840	98.3%	9,672.7	▲ 167.3
			用品市場	億円	2,773	97.9%	2,714.8	▲ 58.2
ケースB	参加率・活動 率の低下傾 向が持続す る	ゴルフ人口	万人		1,008	88.1%	888.0	▲ 120.0
		最終需要	コース	万人	8,950	88.9%	7,956.6	▲ 993.5
			練習場	万人	9,840	88.9%	8,747.8	▲ 1092.2
			用品市場	億円	2,773	88.5%	2,454.1	▲ 318.9

●活性化のポイントはどこか？

・2015年 ゴルフ人口 性別年齢別構成(ケースAの場合)

	男女 年齢	2005年				2015年推定人口		
		2005年 人口	ゴルフ参 加率 % (練習場を 含む)	ゴルフ 人口 (千人)	構成 比	2015年 推定人口	ゴルフ 人口 (千人)	構成比
男	10~14歳	3,065	3.8	119	1.2%	2,971	115	1.2%
	15~19	3,270	3.9	130	1.3%	3,039	121	1.2%
	20~24	3,697	8.8	331	3.3%	3,149	282	2.9%
	25~29	4,027	12.7	521	5.2%	3,470	448	4.6%
	30~34	4,837	16.1	793	7.9%	3,936	645	6.6%
	35~39	4,634	18.6	877	8.7%	4,348	823	8.4%
	40~44	3,975	20.1	813	8.1%	4,908	1,003	10.2%
	45~49	3,811	22.6	877	8.7%	4,324	994	10.1%
	50~54	4,135	21.6	909	9.0%	3,926	863	8.8%
	55~59	5,263	21.4	1,147	11.4%	3,673	800	8.1%
	60~64	3,876	20.8	821	8.1%	4,051	857	8.7%
	65~69	3,537	18.5	666	6.6%	4,524	851	8.7%
70~74	3,013	10.7	328	3.3%	3,447	375	3.8%	
女	10~14歳	2,918	2.5	74	0.7%	2,814	72	0.7%
	15~19	3,117	1.6	51	0.5%	2,888	47	0.5%
	20~24	3,548	4.2	152	1.5%	2,992	128	1.3%
	25~29	3,922	4.8	192	1.9%	3,302	161	1.6%
	30~34	4,727	3.9	188	1.9%	3,779	150	1.5%
	35~39	4,568	4.1	191	1.9%	4,218	176	1.8%
	40~44	3,938	4.2	168	1.7%	4,877	208	2.1%
	45~49	3,811	3.5	136	1.3%	4,345	155	1.6%
	50~54	4,182	3.3	140	1.4%	3,982	134	1.4%
	55~59	5,407	4.0	220	2.2%	3,793	154	1.6%
	60~64	4,124	2.8	118	1.2%	4,295	122	1.2%
	65~69	3,902	1.9	75	0.7%	4,972	96	1.0%
70~74	3,560	1.2	43	0.4%	4,093	50	0.5%	
	女性合計	51,724	3.4%	1,748	17.3%	50,352	1,653	16.8%
	合計	102,864	9.8%	10,080	100.0%	100,118	9,830	100.0%

ジュニア

40歳未満

シニア

ジュニア

40歳未満

ジュニア

シニア

すべての年齢ゾーンで活動率が上昇するためには経済成長と家計可処分所得の増加が必要であろう。

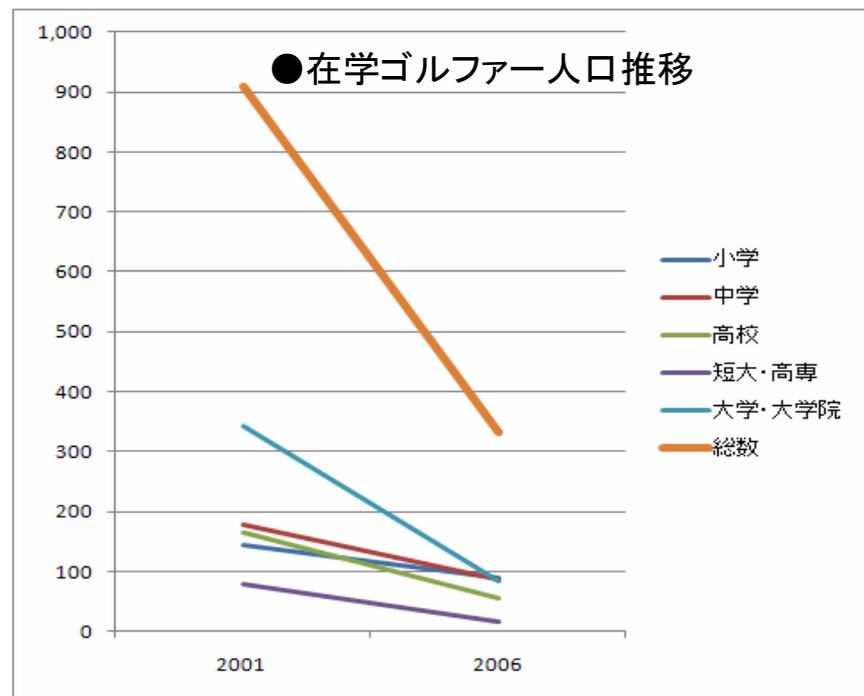
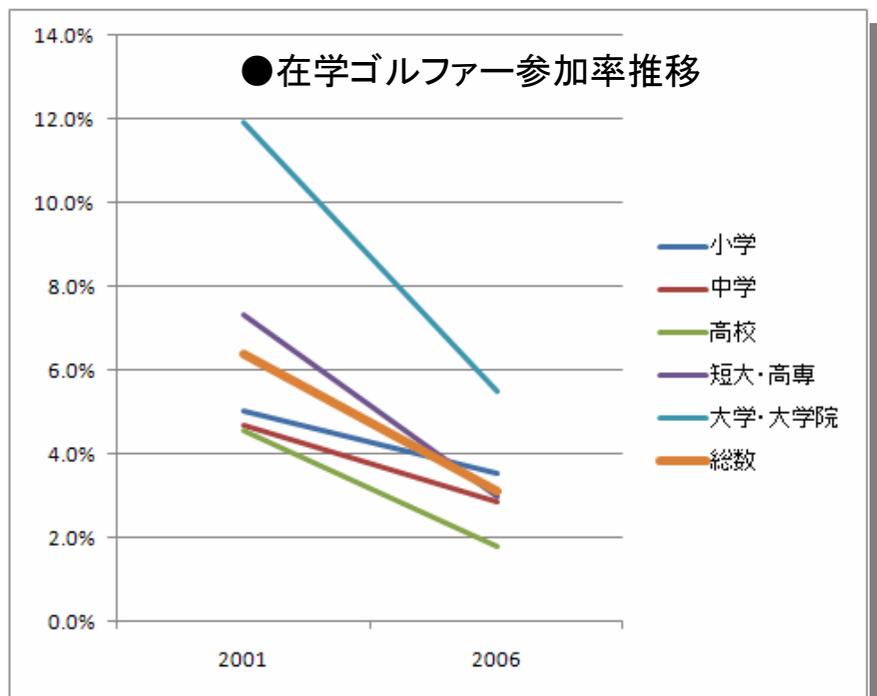
■活性化ポイント① “ジュニア”

●在学ゴルファー数

	2001			2006			2001-2006		
	推定人口 (千人)	ゴルフ行 動者数	参加率	推定人口 (千人)	ゴルフ行 動者数	参加率	推定人口 (千人)	ゴルフ行 動者数	参加率
小学	2,892	145	5.0%	2,535	90	3.6%	-357	-55	-1.5%
中学	3,780	177	4.7%	2,986	86	2.9%	-794	-91	-1.8%
高校	3,628	165	4.5%	3,083	56	1.8%	-545	-109	-2.7%
短大・高専	1,062	78	7.3%	504	15	3.0%	-558	-63	-4.4%
大学・大学院	2,874	343	11.9%	1,545	85	5.5%	-1,329	-258	-6.4%
総数	14,236	909	6.4%	10,653	332	3.1%	-3,583	-577	-3.3%

2001年・2006年社会生活基本調査

ジュニア人口は増加どころか、むしろ減少している



■活性化ポイント② “40歳未満の若い世代”

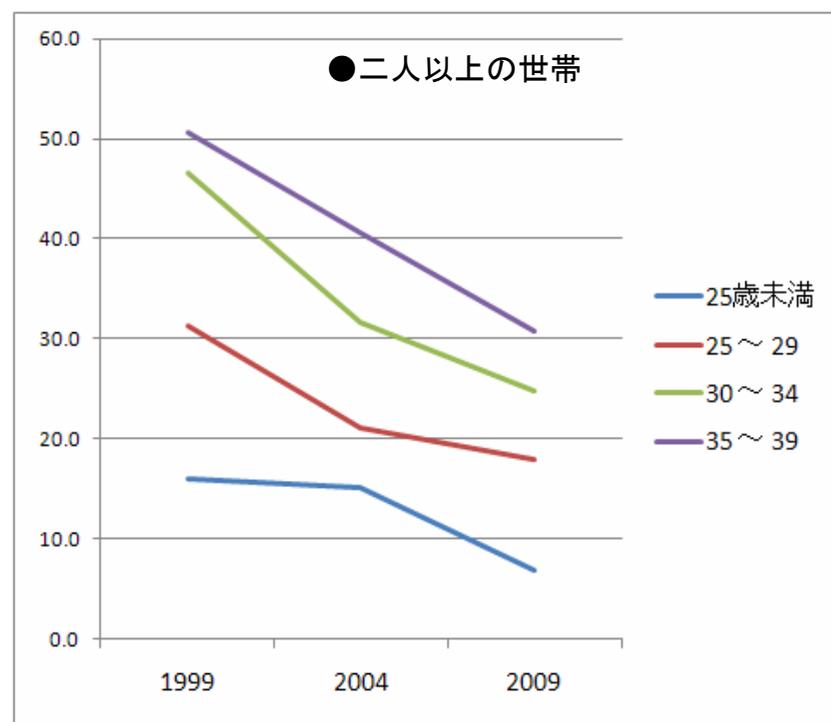
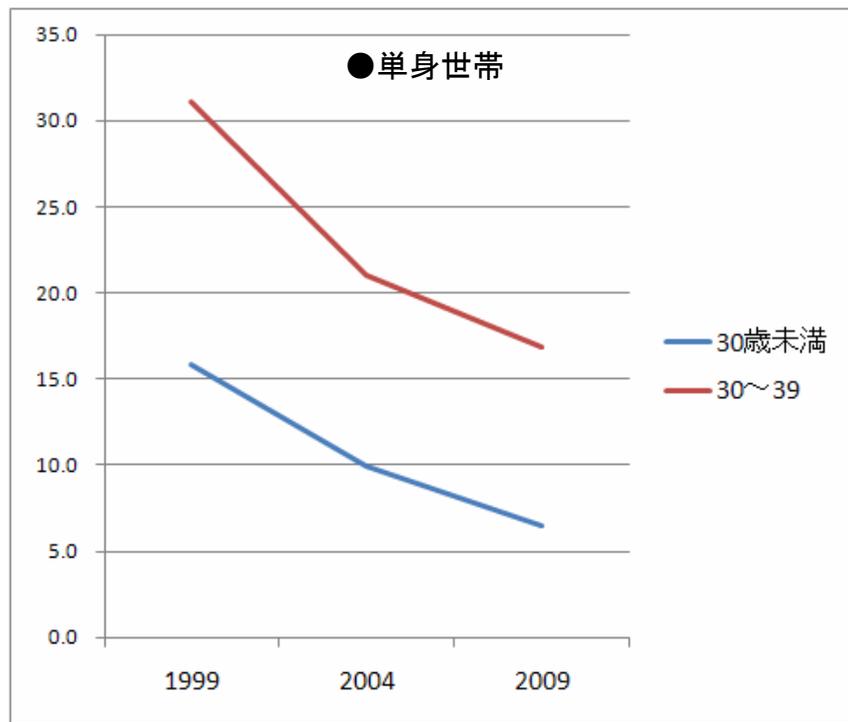
●40歳未満世代のゴルフ参加率変化

●ゴルフクラブセット 普及率 単身世帯 %						
単身	30歳未満	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上
1999	15.8	31.1	33.2	21.0	11.0	5.7
2004	9.9	21.0	27.7	24.0	13.6	9.2
2009	6.5	16.9	25.4	23.8	16.3	8.4

●ゴルフクラブセット 普及率 二人以上の世帯 %												
	25歳未満	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳
1999	16.0	31.3	46.5	50.7	48.7	46.1	47.5	47.5	40.5	31.2	24.1	14.8
2004	15.2	21.1	31.7	40.6	44.9	45.0	42.7	44.2	42.6	37.0	27.3	19.6
2009	6.9	18.0	24.8	30.8	37.1	39.9	41.6	38.9	40.0	37.0	32.5	20.7

1999～2009年全国消費実態調査 クラブセット普及率 世帯主の年齢による集計

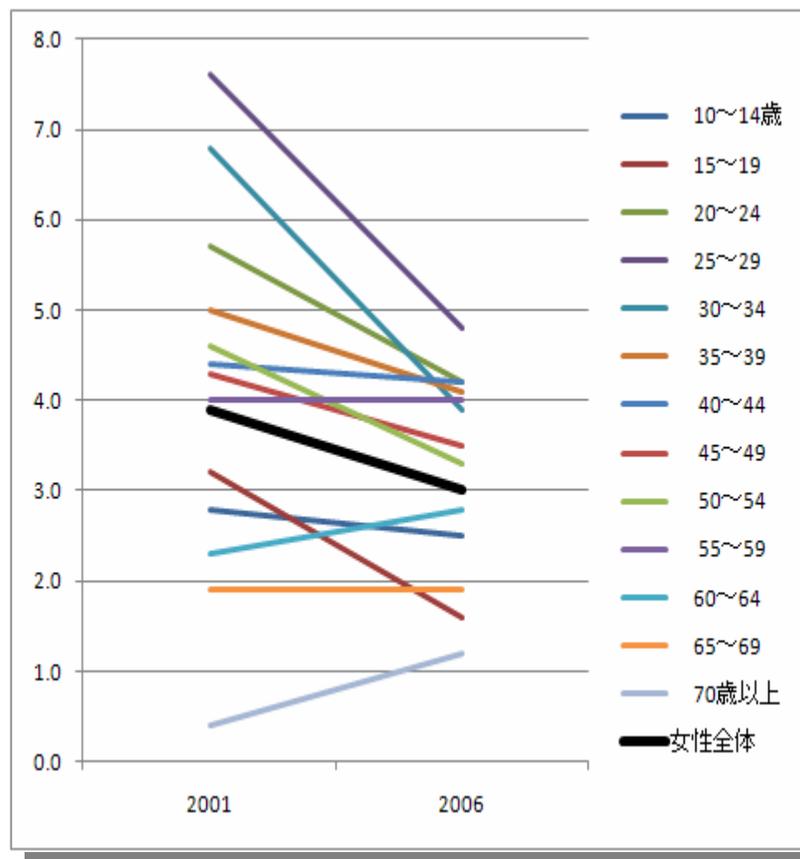
40歳未満の若い世代のゴルフ参加率も減少している。



■活性化ポイント③ “女性”

●女性年齢別ゴルフ参加率変化

年齢	参加率(%)	
	2001	2006
10～14歳	2.8	2.5
15～19	3.2	1.6
20～24	5.7	4.2
25～29	7.6	4.8
30～34	6.8	3.9
35～39	6.8	3.9
35～39	5.0	4.1
40～44	4.4	4.2
45～49	4.3	3.5
50～54	4.6	3.3
55～59	4.0	4.0
60～64	2.3	2.8
65～69	1.9	1.9
70歳以上	0.4	1.2
女性全体	3.9	3.0
平均行動日数	18.8	21.2



総務省・社会生活基本調査ゴルフ行動者率

60～64歳、70歳以上以外の世代はすべて参加率が減少している。

石川県女性ゴルファー

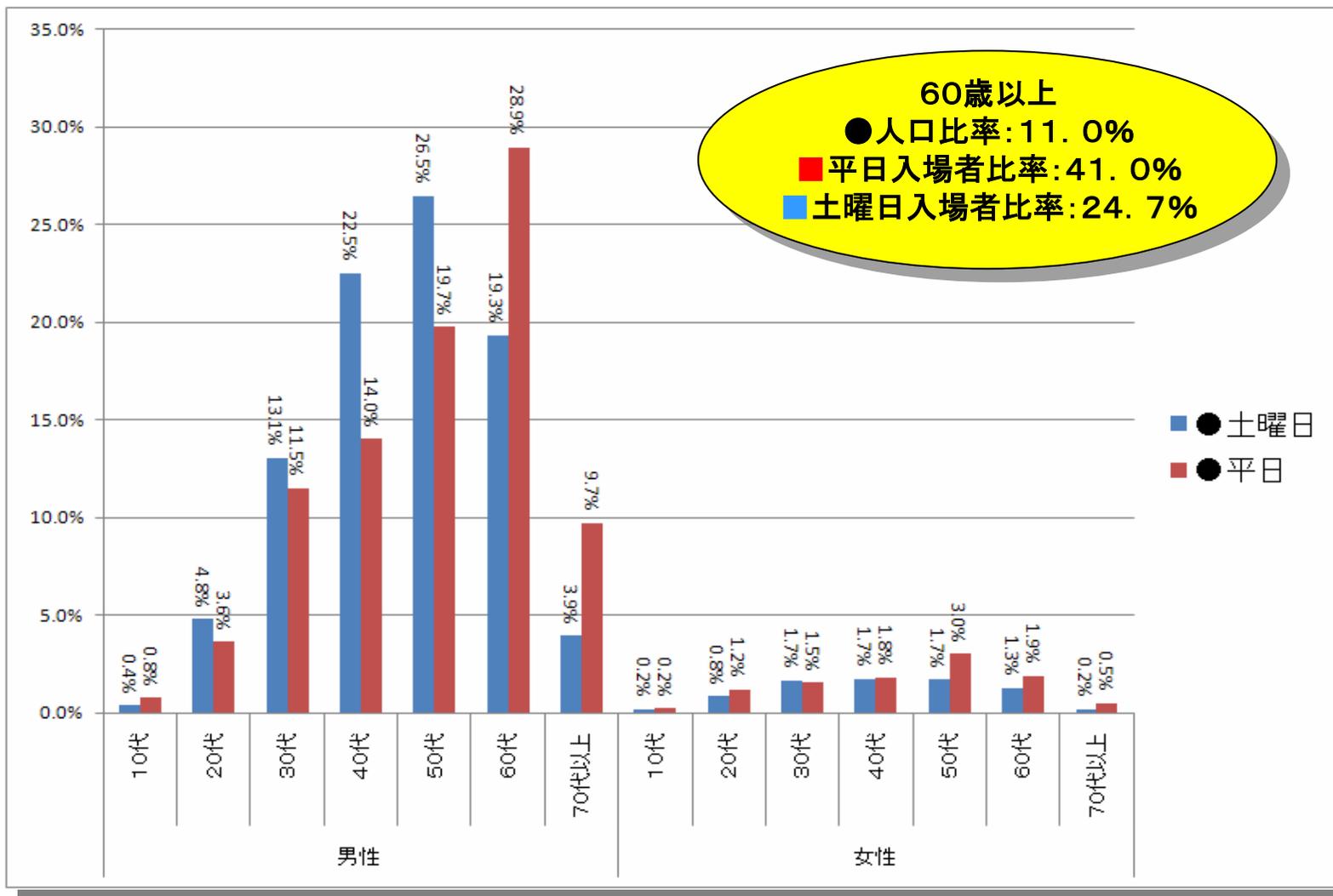
●人口比率: 9.9% (全国33.6%)

■平日入場者比率: 10.2%

■土曜日入場者比率: 7.6%

■活性化ポイント④ “シニア”

●石川県ゴルフ場入場者の性別・年齢構成比



活動的なシニアによるゴルフ需要拡大は、すでに最盛期にある。
 2015年以降は減少・消滅する。